


入賞	高炉スラグを用いた低炭素型セメントと利用技術の開発
技術開発者	東京工業大学 氏名：坂井 悦郎
	
受賞にあたって	
<p>この研究は、国立研究開発法人「新エネルギー・産業技術総合開発機構」(NEDO) の助成のもと、2008年から先導研究（通算期間: 2年 8ヶ月）および実用化開発（通算期間: 2年 7ヶ月）として実施したものです。基礎研究の大学および材料製造のセメント会社と使用者である建設会社が連合し材料開発から実用化研究までを一貫してグループとして実施したことが特徴です。日本でも例のない研究体制です。材料、施工、構造と統合的な検討を行うために個別の検討会と総合検討会を組織し、綿密な情報交換を行って研究を進めたことが早期の実用化に結びついたと思います。高炉スラグの反応の研究は、私以前に近藤連一先生と大門正機先生と私どもの研究室で引き継がれて来た研究です。今回の成果のように実用化に結びついたことは非常に喜ばしいことです。また、研究の連続性が大切だとあらためて思っています。</p>	
受賞後の動き	
<p>現在は日本スラグセメント・コンクリート研究会を組織し、本技術のさらなる展開や普及活動を行っています。また、土木学会でも高炉スラグ微粉末を混和したコンクリートの施工指針が平成8年に作成されていますが、今回の成果なども入れた指針改訂の委員会の活動も開始されており、普及に向けた体制は整ってくると思っています。また、まだ、不明な点もあるので、高炉スラグの反応についての基礎的な研究は、引き続き行っています。この技術研究開発は、環境貢献が大きな点が評価され、平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣賞（技術開発・製品化部門）、第25回地球環境大賞日本経済団体連合会会長賞や平成28年度環境賞優秀賞を受</p>	

賞しています。また、CO₂削減が経済性として評価されるには至っていませんが、将来的にはそのような点も考慮されるものと期待しています。